

（表）

防火対象物使用開始届出書				
東京消防庁 (2) 消防署長		(1)年 月 日		
		届出者 住所 (3) 電話 ()		
		氏名	(印)	
下記のとおり、防火対象物又はその部分の使用を開始したいので、火災予防条例第56条の2第1項の規定に基づき届け出ます。				
記				
敷地の概要	名称	(4)		
	所在地	(5)		
	防火地域	(6)	用途地域 (7)	
	敷地面積	(8)		
防火対象物の概要	工事等場所	(9)		
	所有者 (10)	住所	電話 ()	
		氏名		
		所有形態	単独・共有・区分・その他	
		分類	証券化・指定管理・民間資金活用(PFI) その他 ()	
	所有者との関係	本人 (11) 賃借・転借・その他 ()		
	工事等開始日	(12)	使用開始日	(13)
	工事等種別	(14)		
	用途	(15) () 項 ()		
	面積等	建築面積 (16)	m ²	延べ面積 m ²
構造・階層	(17)			
設計・施工者等	設計者 (18)	住所	電話 ()	
		氏名		
	施工者 (19)	住所	電話 ()	
		氏名		
	防火安全技術講習修了者 (20)	住所	電話 ()	
		氏名		
		修了証番号	修了年月日	
		修了証課程		
	石油機器技術管理講習修了者 (21)	住所	電話 ()	
		氏名		
修了年月日		修了証番号		
※ 受付欄		※ 経過欄		

工事等の概要

(22)

(23) 配置図

- 備考
- 1 届出者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 - 2 同一敷地内に管理権原が同一である2以上の防火対象物がある場合は、主要防火使用物のみ本届出書とし、他は防火対象物の概要欄を別紙として防火対象物ごとに作成し、添付することができる。
 - 3 防火安全技術講習修了者欄は、当該講習修了者が本届出書の内容について消防関係法令に適合しているかどうかを調査した場合に記載すること。
 - 4 石油機器技術管理講習修了者欄は、地震動等により作動する安全装置を設けることとされている設備又は器具を設置(変更)する場合に記載すること。
 - 5 ※欄には、記入しないこと。
 - 6 工事等の概要欄には具体的な工事等の概要を記載すること。
 - 7 配置図欄には防火対象物の配置図を記載すること。

防火対象物使用開始届出書記入要領

項目		記入要領	
(1) 年月日		防火対象物使用開始届出書を届け出る日を記入します。	
(2) 宛先		防火対象物使用開始届出書を届け出る消防署長名を記入します。	
(3) 届出者		防火対象物を使用（変更する場合を含む。）しようとする者の住所、電話番号及び氏名を記入し、押印します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントを使用しようとする者の住所、電話番号及び氏名を記入し、押印します。 なお、法人の場合は、法人名及び代表者氏名を併記し、代表者印を押印します。	
敷地の概要	(4) 名称	使用しようとする防火対象物の存する敷地の名称を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントが入居する防火対象物の存する敷地の名称を記入します。	
	(5) 所在地	使用しようとする防火対象物の存する敷地の所在地を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントが入居する防火対象物の存する敷地の所在地を記入します。	
	(6) 防火地域	使用しようとする防火対象物の存する敷地が属する防火地域名を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントが入居する防火対象物の存する敷地が属する防火地域名を記入します。	
	(7) 用途地域	使用しようとする防火対象物の存する敷地が属する用途地域名を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントが入居する防火対象物の存する敷地が属する用途地域名を記入します。	
	(8) 敷地面積	使用しようとする防火対象物の存する敷地の面積を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントが入居する防火対象物の存する敷地の面積を記入します。	
防火対象物の概要	(9) 工事等場所		使用しようとする防火対象物の名称を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントが存する階を記載するとともに、テナント名をカッコ書で記入します。
	(10) 所有者	住所	使用しようとする防火対象物の所有者の住所及び電話番号を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、当該テナントが存する防火対象物の所有者の住所及び電話番号を記入します。
		氏名	使用しようとする防火対象物の所有者の氏名を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、当該テナントが存する防火対象物の所有者の氏名を記入します。 なお、法人の場合は、法人名及び代表者氏名を併記します。
	所有形態	所有	所有形態欄に記入されている次の所有形態の区分のうちから、該当するものを丸印で囲みます。
		形態	単 独・・・一の防火対象物を単独で所有することをいう。 共 有・・・一の防火対象物を複数の者が所有することをいう。 区 分・・・一の防火対象物が複数の部分に区分され、それぞれの部分ごとに所有者が異なることをいう。 そ の 他・・・上記以外をいう。
分類	分類	分類欄に記入されている次の分類の区分のうちから、該当するものを丸印で囲みます。 なお、複数の分類の区分に該当する場合は、該当するものをすべて丸印で囲みます。	
		証 券 化・・・防火対象物を担保に証券を発行して、資金を調達することをいう。 指定管理・・・地方自治法第244条の2第3項の規定により自治体が法人その他の団体であって自治体が指定するものに、当該施設の管理を行わせることをいう。 民間資金活用・・・自治体が公共施設を整備する場合に、自治体が直接に施設を整備せず（PFI）に、民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供を委ねることをいう。 そ の 他・・・上記以外をいう。	

	(11) 所有者との関係	所有者との関係欄に記載されている次の所有者との関係の区分のうちから、該当するものを丸印で囲みます。 本 人・・・所有者本人が防火対象物又はその部分を使用することをいう。 賃 借・・・賃貸借契約に基づいて防火対象物又はその部分の使用をすることで、転借以外の場合をいう。 転 借・・・人の借りている防火対象物又はその部分を、その人から更にまた借り受けることをいう。 そ の 他・・・上記以外をいう。
	(12) 工事等開始日	防火対象物又はテナントの工事に着手した日（工事を行わない場合は、什器の搬入等に着手した日）を記入します。
	(13) 使用開始日	防火対象物又はテナントの使用を開始する日を記入します。
	(14) 工事等種別	次の工事等の種別を記入します。 新 築・・・新たに防火対象物を造る工事をいう。 増 築・・・既存の防火対象物の床面積を増加させる工事をいう。 改 築・・・防火対象物の全部を除却し、又はこれが滅失した後、引き続き同一敷地内において、位置、用途、規模及び構造の著しく異なる防火対象物又はその部分を造る工事をいう。 用途変更・・・既存の防火対象物の用途を他の用途に変更することをいう。 移 転・・・同一敷地内において建築物の位置を移すことをいう。なお、防火対象物を別の敷地に移すのは、新築又は増築である。 模様替え・・・防火対象物の全部又は一部の除却又は滅失を伴わないが、主要構造部について以前の状態を変更する工事をいう。
	(15) 用途	政令別表第 1 に掲げる防火対象物の用途のうち、該当するものを記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、当該テナントが存する防火対象物全体の用途を記入します。
	(16) 面積等	使用しようとする防火対象物の建築面積及び延べ面積を記入します。 また、テナントの入れ替え等に伴う届出にあっては、テナントが入居する防火対象物全体の建築面積及び延べ面積を記入します。
	(17) 構造・階層	使用しようとする防火対象物の構造及び階層を記入します。
設計・施工者等	(18) 設計者	工事等に係る設計をした者の住所、電話番号及び氏名を記入します。 なお、法人に属する者の場合は、法人名及び役職名を併記します。
	(19) 施工者	工事等の施工をした者の住所、電話番号及び氏名を記入します。 なお、法人の場合は、法人名及び役職名を併記します。
	(20) 防火安全技術講習修了者	防火安全技術講習修了者が本届出の内容を調査した場合に、当該防火安全技術講習修了者の住所、電話番号、氏名、修了証番号、修了年月日及び修了課程を記入します。 なお、法人に属する者の場合は、法人名及び役職名を併記します。
	(21) 石油機器技術管理講習修了者	液体燃料を使用する石油燃焼機器の設置工事をした場合に、当該工事をした石油機器技術管理講習修了者の住所、電話番号、氏名、修了年月日及び修了証番号を記入します。
	(22) 工事等概要	工事等の概要を記入します。
	(23) 配置図	防火対象物の配置図を記入します。